

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要
事業開始年度: 昭和59年度~
大項目基本目標: 03 地域文化と人が輝くまちづくり
中項目基本施策: 02 生きがいのあるまちづくり
小項目施策: 04 公民館
事務事業名: 06 自治公民館等整備事業
問担当課(室): 中央公民館
職・氏名: 館長代理 森中信行
電話: 64-1133
このシート作成に要した時間: 1.0 時間

事業の目的
対象(誰・何に対して): 備前・吉永地域の自治公民館、集会所等
目的(何のために): 自治公民館・集会所等の新築、維持管理費の負担を軽減させるため。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか): 地区社会教育活動の拠点施設としての充実、発展の一助となる。

事業の実績
細事業名: 自治公民館等整備事業
事業の説明: 自治公民館の新築費、維持管理費の一部を補助金として交付
優先度:
H21 15件 8,506千円
H22 16件 9,282千円
H23 18件 8,526千円

事業費等
事業費: 8,526千円
必要人員: 0.14人
事業費: 9,445千円
国庫支出金: 9,445千円
受益者負担金: 0
繰入金: 0
市債: 0
その他: 0
一般財源: 9,445千円
受益者負担比率: 0%
結果指標名: 実施件数
結果指標量: 15件
対前年比: 106.7%
活動コスト: 9,445,000円
単位当たりコスト: 629,667円

事業の成果
成果指標名: 実施率
年度: 平成21年度, 平成22年度, 平成23年度, 平成24年度目標値
目標値(A): 15, 16, 18
実績値(B): 15, 16, 18
達成率(B/A): 100.00%, 100.00%, 100.00%
成果指標設定の考え方・式や説明: 毎年100%実施

事務事業の評価
市の関与の妥当性: B
市民ニーズ: 高い
効率性の評価: B
有効性の評価: B
説明: 該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください

進行年度(H24年度)の改革改善内容
状況: 現状継続
説明: H24.5未現在、要望16件(備前15、吉永1)のうち、申請9件(備前9、吉永0)次年度分は、10月までに各自治公民館の要望調査を行い予算計上

総合評価
総合評価: B
平成23年度は要望18件に対し実施した。

平成25年度の方向性・取組目標
方向性: 現状継続
取組目標: 老朽化している自治公民館も多く、要望も多い事業である。H25以降について、備前市行政改革プランの「7. 補助金・給付金等の見直し」に従い、修繕・備品購入の補助率を2/5から1/3へ引き下げる。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定
事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を留意しながら評価

Plan

Do

Check

Action